

令和2年度

きびっ子だより

NO.6



—考える子・やさしい子・元気な子—

R2. 7. 20

文責 襟立

1年生が「どろあそび」をしました。



7月15日(水)1年生が、どろあそびをしました。生活科の「きせつとなかよし・夏」の学習で、水や土に親しみ、手足や指の触感を通して、自然や季節を体感する活動です。みんな、ペットボトルに水をいっぱい入れて、運動場端の生活科砂場に向かい、思う存分水や土と楽しむことができました。久しぶりのどろ遊びに目を輝かせながら、夢中で遊んでいる子どもたちの姿が印象的でした。

「もっと水がほしいなあ！」

のぼり棒集会がありました。

7月15日(水)の太陽の時間に、運動委員会主催の「のぼり棒集会」がありました。体力づくりの一環として毎年運動委員会がいろいろな集会を計画してくれます。この日は、2,3年生の希望者がのぼり棒に集まり、上まで登るタイムを競いました。運動委員会の5,6年生がタイムを計ってくれました。参加者はみんな一生懸命がんばっていました。周りで見ている友達も「がんばれ、もう少し。」と力強い応援をしていました。とても気持ちの良い、心がほっこりとする一時でした。運動委員会のみなさんありがとうございました。次回は、4~6年生が、挑戦する予定です。



「がんばれ がんばれ！」

4年生が「水の長い旅」の学習をしました。



7月16日(木)に4年生が「水の長い旅」という社会科の学習をしました。前回ごみの学習でお世話になった市の環境課や浅口清掃センターの方々、今回も大勢来てくださり、水の行方や大切さについて詳しく教えてくださいました。水の旅がよくわかるジオラマを使って、きれいな「水道水」が家庭に届くまでの過程をわかりやすく教えてくださいました。子どもたちは、感嘆の声をあげながら、熱心に話を聞き、水の大切さやきれいな水を作ってくださいる方々の努力や苦労を知ることができ、環境を守ることの重要性を学びました。お世話になった皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



ジオラマ「水の長い旅」